Caplio

RR10

デジタルカメラ

使用説明書

ご使用の前に必ずこの「使用説明書」をお読みの上、
正しくお使いください。
本書をすぐに使用できるように保管してください。

はじめに

この使用説明書には、本製品を使って撮影や再生機能を利用する方法や使用上の注意について記載してあります。
本製品の機能を十分にご活用いただくため、ご使用の前に、本書を最後までお読みください。本書が必要になったとき、すぐに利用できるよう、お読みになった後は、必ず保管してください。

株式会社リコー

テスト撮影について

必ず事前にテスト撮影をして正常に記録されていることを確認してください。

著作権について

著作権の目的になっている書籍、雑誌、音楽等の著作物は、個人的または家庭内およびこれに準ずる限られた範囲内で使用する以外、著作者に無断で複写、改変等することは禁じられています。

ご使用に際して

万一、本製品などの不具合により記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証者について

本製品は国内仕様です。保証書は日本国内において有効です。外国で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

電波障害について

他のエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に、近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は、次のようにしてください。

・テレビやラジオなどからできるだけ離す
・テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える
・コンセントを別にする

< 電波障害自主規制について >

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

・本書の内容に関しては将来予告なく変更することがあります。
・本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気付きのことがありましたら、巻末をご覧の上ご連絡ください。

各使用説明書の読み方

本製品には、下記の使用説明書が付属しています。目的に応じてご利用ください。

箱を開けたら

箱の中身を確認してください。→P.2

カメラを使ってみよう

カメラ編（本書）

カメラを使うまでの準備から、いろいろな機能を使った撮影や再生の操作方法を説明しています。

パソコンに画像を取り込んでみよう

Windows　RICOH Gate for Windows

必要なソフトウェアのインストール、カメラとパソコンの接続方法、カメラとパソコン間でのファイルのやり取りを行うRICOH Gateの使い方を説明しています。

Macintosh　RICOH Gate for Macintosh

必要なソフトウェアのインストール、カメラとパソコンの接続方法、カメラとパソコン間でのファイルのやり取りを行うRICOH Gateの使い方を説明しています。

取り込んだ画像の加工やファイルを整理してみよう

Windows　ImageTouch for Windows

画像の補正やファイルの整理を行う画像管理ソフトImageTouchの使い方を説明しています。

Macintosh　ImageTouch for Macintosh

画像の補正やファイルの整理を行う画像管理ソフトImageTouchの使い方を説明しています。

同梱品の確認

次のものが揃っているかお確かめください。また、保証書は内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。

目次

第 4 章　再生／消去する

第 5 章　カメラの設定やその他の機能を使う

付録

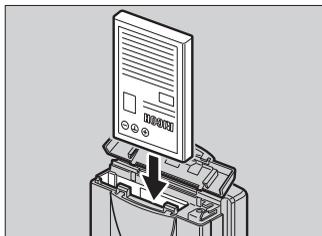
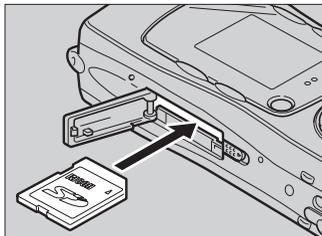
■本文中のマークについて

重要	操作上、注意してほしい事柄や制限事項などが書かれています。
補足	操作の補足説明や知っておいてほしい事柄が書かれています。
コラム	カメラの操作で知っておくと役に立つ情報が書かれています。
▶▶▶	関連する機能や操作の参照ページを表します。
	関連する機能や操作の参照する分冊名を表します。

基本操作早わかり

ここでは、操作概要を説明しています。詳しくは、記載の参照ページをご覧ください。

準備する

1 バッテリー

2 SDメモリーカード

1 バッテリーをセットする→ P.21

バッテリーカバーを押しながらスライドして開き、バッテリーをセットします。

※あらかじめ、バッテリーを充電（P.22）してからお使いください。

2 メモリーカードをセットする→ P.27

カードカバースイッチをスライドしてカードカバーを開き、SD メモリーカードをカチッと音がするまで押し込んでセットします。

※新しい SD メモリーカードをお使いの場合は、必ずカメラでフォーマット（P.28）してください。

●日付 / 時刻を設定するには→ P.36

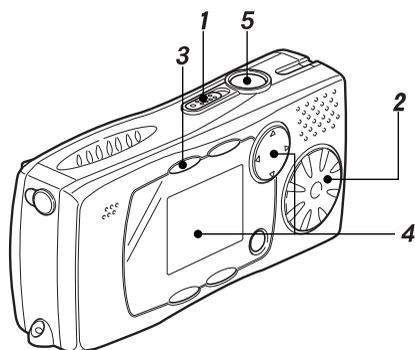
1 モードダイヤルを［SETUP］にする

2 ▲・▼ボタンで［日付設定］を選び、▶ボタンを押す

3 ▲・▼・◀・▶ボタンで日付、時刻を設定する

◀・▶ボタンを押して修正したい部分を反転させ、▲・▼ボタンで日時を修正します。

4 ENTER ボタンを押す

撮影する

1 電源をオンにする→ P.32

電源スイッチをスライドしてオンにします。

2 モードダイヤルを［📷］にする→ P.33

3 画質モードを選ぶ→ P.39

PIC ボタンを押して画質モードを選びます。

4 構図を決める→ P.39

[▲]ボタンを押すと被写体が大きくなり、[▲]ボタンを押すと被写体が小さくなります。

5 撮影する→ P.38

シャッターボタンを軽く押し（半押し）、ピントを合わせます。そのまま指を離さずに押しきります。

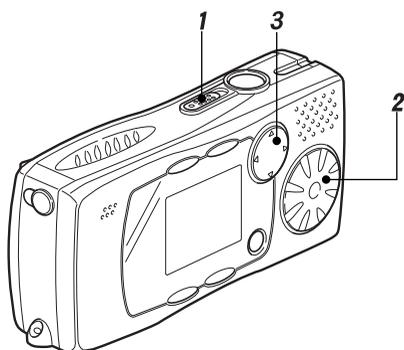
●フラッシュを使って撮影するには→ P.49

1 モードダイヤルを［📷］または［▤］にする

2 ⚡ボタンを押してモードを切り替える

発光禁止、オート、強制発光、スローシンクロから選びます。

3 シャッターボタンを押して撮影する

再生する

1 電源をオンにする→ P.32

電源スイッチをスライドしてオンにします。

2 モードダイヤルを［▶］にする→ P.33

3 ファイルを選ぶ→ P.66

◀ボタンを押すと前のファイル、▶ボタンを押すと次のファイルを表示します。

●複数ファイルを一度に表示するには（サムネイル表示）→ P.71

1 モードダイヤルを［▶］にし、MENU ボタンを押す

2 ▶ボタンで ⊞ を選び、ENTER ボタンを押す

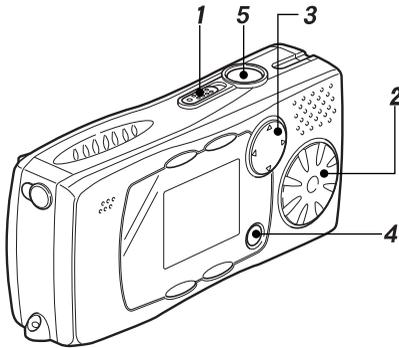
3 ▲・▼・◀・▶ボタンで再生するファイルを切り替える

選択ファイルが上段のとき▲ボタンを押すと前の９ファイル、下段のとき▼ボタンを押すと次の９ファイルを表示できます。

一枚表示に戻すには

MENU ボタンを押してメニューを表示し、ENTER ボタンを押す

一枚表示に戻り、選択ファイルが表示されます。

削除する

1 電源をオンにする→ P.32
電源スイッチをスライドしてオンにします。

2 モードダイヤルを［▶］にする→ P.33

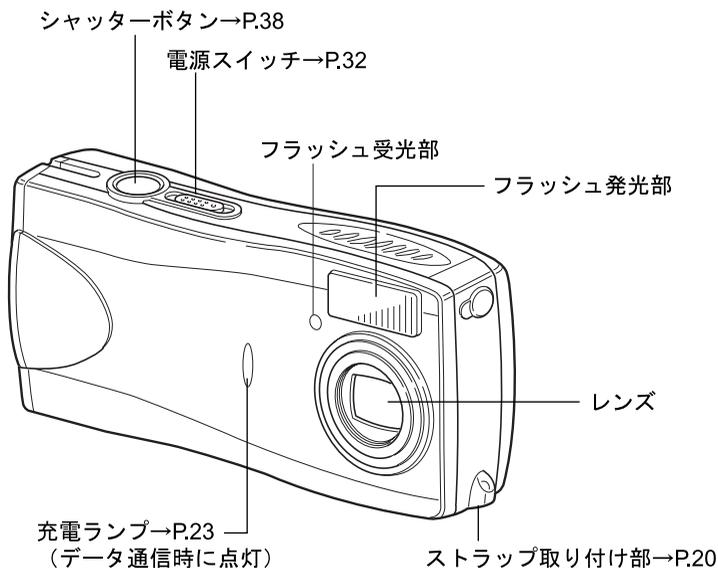
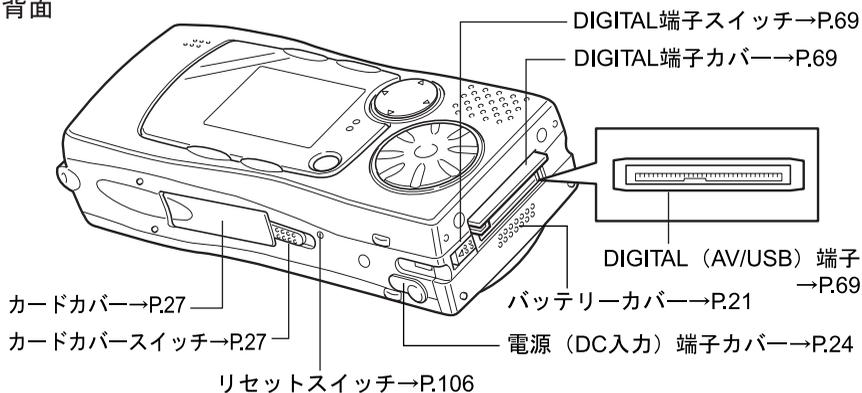
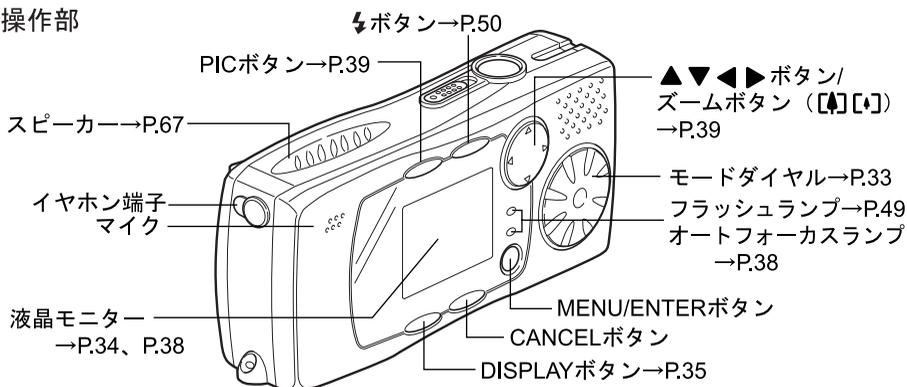
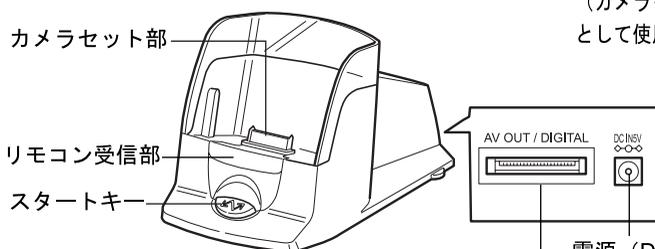
3 削除するファイルを選び、MENU ボタンを押す→ P.86
◀ボタンを押すと前のファイル、▶ボタンを押すと次のファイルを表示します。

4 🗑 が反転していることを確認し、ENTER ボタンを押す→ P.86

5 シャッターボタンを押す

各部の名称

■カメラ本体

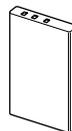
前面

背面

操作部

■RICOH BASE（リコーベース）

■アーム

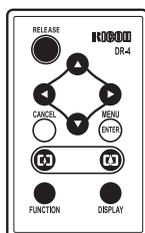
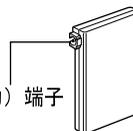
（カメラをパソコンと接続して、PCカメラとして使用するときに取り付けます。）

■ACアダプター

AC-3

■リチャージャブルバッテリー

DB-40

■リモコン（別売）

DR-4

■ACアダプターコンバーター

安全上のご注意

表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が差し迫って発生する可能性がある内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示の例

❗記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。

⃠の中に具体的な禁止内容が描かれています。

●表示例

意味：接触禁止　意味：分解禁止

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

⚠危険

●カメラを分解、修理、改造しないでください。内部には高圧電流回路があり、感電する危険があります。

●バッテリーを分解、改造、直接ハンダ付けしたりしないでください。

●バッテリーを火の中に投入したり、加熱したり、火のそばや車の中など温度が高くなる場所で使用したり、放置しないでください。また、水や海水などにつけたり、濡らさないでください。

●バッテリーに釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、落下させたり、強い衝撃を与えないでください。

●外傷、変形の著しいバッテリーは使用しないでください。

⚠警告

●万一、煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常状態がみられる場合は、すぐに電源を切ってください。感電や火傷に注意しながら速やかにバッテリーを取り外してください。家庭用コンセントから電源を供給しているときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。そしてリコー修理受付センターに連絡してください。機械が故障したり不具合のまま使用し続けないでください。

●万一、機械内部に異物（金属、水、液体など）が入った場合は、すぐに電源を切ってください。感電や火傷に注意しながら速やかにバッテリーを取り出してください。家庭用コンセントから電源を供給しているときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。そしてリコー修理受付センターに連絡してください。機械が故障したり不具合のまま使用し続けないでください。

警告

●液晶モニターが破損した場合、中の液晶には十分注意してください。万一、次の状況になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。

・皮膚に付着した場合は、付着物を拭き取り、水を流しせっけんでよく洗浄してください。

・目に入った場合は、きれいな水でよく洗い流し、最低 15 分洗浄した後、医師の診断を受けてください。

・飲み込んだ場合は、水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を与えて吐き出させた後、医師の手当てを受けてください。

●バッテリーの液漏れ、発熱、発火、破裂の防止のため、次のことをお守りください。

・この製品で指定しているバッテリー以外は、使用しないでください。

・金属製のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアーピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。

・電子レンジや高圧容器に入れないでください。

・使用中や充電中、液漏れしたり、異臭がする、変色するなどの異常がある場合は、ただちにカメラから取り外し、火気から遠ざけてください。

●バッテリーの充電による火災、感電、破裂の防止のため、次のことをお守りください。

・表示された電源電圧以外の電圧を使用しないでください。また、タコ足配線や延長コードの使用は避けてください。

・電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げないでください。

・濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。また、電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグをもって抜いてください。

・布などに包んで使用しないでください。

●この製品で使用しているバッテリーや SD メモリーカードを誤って飲み込むことがないよう、特に幼児・子供の手の届かないところに置いてください。万一飲み込んだ場合は、人体に有害です。ただちに医師と相談してください。

⚠警告

●この製品を幼児・子供の手の届く範囲に放置しないでください。幼児・子供には「安全上のご注意」や「使用上のご注意」の内容が理解できずに事故発生の原因となります。

●落下や損傷により内部が露出したときは、内部には手を触れないでください。内部には高圧電流回路があり、感電する危険性があります。感電や火傷に注意しながら速やかにバッテリーを取り出してください。破損したときは、お買い上げの店またはリコー修理受付センターに連絡してください。

●台所などの湯煙や湿気の当たるところ、水気のあるところでは使用しないでください。火災や感電の原因となります。

●引火性ガスやガソリン、ベンジン、シンナー等の近くで使用しないでください。爆発や火災、火傷の原因となります。

●航空機の中など、使用が制限または禁止されている場所では使用しないでください。事故等の原因となります。

●電源プラグにほこりが付着している場合は、よくふいてください。火災の原因となります。

●家庭用コンセントをご利用になるときは、必ず専用の AC アダプター（型名 : AC-3）をご利用ください。指定以外の AC アダプターでは、火災・感電・故障の原因になります。

●海外旅行者用として市販されている「電子式変圧器」などに AC アダプターを接続しないでください。火災・感電・故障の原因になります。

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

⚠注意

●バッテリーから漏れた液が肌に触れると、火傷の原因になります。破損したバッテリーに触れた場合は、すぐに水で洗い流してください。（せっけんは使用しないでください）

また、液漏れが起こったときは、液をよくふき取ってから、新しいバッテリーを入れてください。

●電源プラグは、コンセントに確実に差し込んでください。火災の原因となります。

●カメラを濡らさないでください。また、濡れた手で操作しないでください。感電の原因となります。

●車両（自転車、車、列車等）の運転者に向けてフラッシュを発光しないでください。交通事故等の原因となります。

別売り品について

リモートコントローラーなどの別売り品をお使いになるときには、各製品に付属の説明書の「安全上のご注意」を操作の前に必ずお読みください。